

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】②繰り返し、練習することで問題解決に必要なグラフの作成などの操作に習熟する

ここはお手本シートです。隣のシートで作業しましょう。

名前	1月のお小遣い	階級	度数	相対度数	相対度数×100
A	0				
B	0	0-499	2	0.1	7.7
C	500	500-999	2	0.1	7.7
D	500	1000-1499	6	0.2	23.1
E	1000	1500-1999	0	0.0	0.0
F	1000	2000-2499	2	0.1	7.7
G	1000	2500-2999	0	0.0	0.0
H	1000	3000-3499	3	0.1	11.5
I	1000	3500-3999	0	0.0	0.0
J	1000	4000-4499	7	0.3	26.9
K	2000	4500-4999	0	0.0	0.0
L	2000	5000-5499	2	0.1	7.7
M	3000	5500-5999	0	0.0	0.0
N	3000	6000-6499	0	0.0	0.0
O	3000	6500-6999	0	0.0	0.0
P	4000	7000-7499	0	0.0	0.0

1月のお小遣い



度数と階級



ヒストグラムをつくる練習のためのシートと生徒の活動の様子（右上）

データを扱う単元でスムーズにヒストグラムなどのグラフを作成できるように、練習時間を設けている。このように練習をすることにより、生徒はグラフ作成の手順を理解し、より正確かつ迅速に数字だけで示された情報を必要に応じて可視化できるようになった。その結果、理科や数学の授業でもデータ分析をスムーズに行うことが可能となり、授業の進行がより効率的になった。これは本校の教育課程「情報の時間」での実践である。